

言語聴覚療法（ST）

何らかの原因で聞こえやことば、飲み込みに障害を持つ人に対して、生活に必要なコミュニケーション能力やスムーズな飲み込みができるよう、訓練・指導・援助を行います。



急性期・2016年入職

言語聴覚士

チーム医療を実践

入職したころは、臨床現場で他職種との連携が思うようにとれませんでした。チーム医療を実践する中で人間関係に悩むこともありましたが、相手への伝え方を工夫するなど、少しずつ改善していき、病棟と一緒にチーム医療を実践できるようになりました。他職種間のコミュニケーションの大切さを学ぶことができました。

これからはSTとして自身のスキルを磨いていきたいです。医療の世界はエビデンスも日に日に進歩しており、STも呼吸リハビリができるようになりました。知識・技術ともに勉強していきたいです。



急性期・2014年入職

言語聴覚士

食べることは生きること

STとして様々な経験を積んだ現在、表面に出ている現象や障害だけを対象にするのではなく、患者様の人生において「STとして何ができるか」を考えられるようになりました。それを踏まえ、今後はSTとしての幅を広げたいです。食べることは生活の一部であり、大きな意味を持っています。「食べること＝生きること」でもあり、倫理的・哲学的に考えていきたいです。

東神戸病院は人が優しいです。医師は親しみやすく、医療人として尊敬できる方ばかり。セラピストは優しくて懐の深い人が多いです。男女問わず子育てママさんに対する理解があり、子育てしながら働きやすい環境だと思っています。